

## 笑顔のアルバムNo.12

### おにはそと、ふくはうち


2月3日の節分に向けて、鬼のお面をつくりました。  
“おなかの中で悪さをする鬼を退治しよう！”と、思い思いに色を付け、数日かけて完成させたお面をかぶって、いざ出陣！

園庭で元気よく『おには～そと』『ふくは～うち』と豆をまいていると…  
「うお～！」と、大きな怖い青鬼がやってきました。

その鬼は、おなかから出てきた鬼だったのです。

子どもたちは「好き嫌いしない」「泣き虫しない」「おこりんぼうにならない」「ねぼすけしない」などと、おなかの中の悪い鬼をやっつけ、良い子になる約束をして、鬼と仲直りをしました。

日本の伝統的な行事に親しみ、楽しんで取り組んだ様子を紹介します。



うお～  
赤鬼だぞ！

ただいま、鬼に変身中！  
あら、パンツ脱げちゃった！



ちびっこちび鬼もやってきました。



これはなんだ？  
うまそうな匂いが  
するぞ！



豆屋さんが、ちびっこにも豆を配ってくれました。



冬まつりで登場した大きな鬼の回りに、自分のおなかの中にある鬼を貼り、鬼退治をすることにしました。



赤鬼、青鬼、桃色鬼...

強い鬼になって準備はオッケー。



おには～そと！ ふくは～うち！



いてててて…  
まいった～





心の中の鬼退治、できたかな？



“鬼役”と“豆をまく役”とを交代します。  
さあ、行くよ！

悪い子はいないか～  
いじめっ子鬼は  
いないか～

すると、どこからともなく太鼓の音が...





「これは大変、つれていかれちゃう！」と、  
大急ぎで豆をまきました。



僕にまかせて！  
おには～そと！



こないで〜



子どもたちのおなかの中に、もう悪い鬼はいません。すると、青鬼はとても優しい鬼になりました。





そこで、みんなでいっしょに“赤鬼と青鬼のタンゴ”を踊りました。青鬼さん、踊りがとっても上手だったね。



その後、青鬼は、来年また来ることを約束し、友達の待つ山に帰っていきました。



ちびっこも元気もりもり！  
青鬼さん、また来年会おうね！